
教育課程表

博士前期課程

環境情報学専攻 及び 都市生活学専攻,
東京都市大学・エディスコワン大学
国際連携環境融合科学専攻

博士後期課程

環境情報学専攻 及び 都市生活学専攻

教育課程表：環境情報学専攻 及び 都市生活学専攻

博士前期課程

領域および必修科目

博士前期課程（環境情報学専攻 及び 都市生活学専攻）では、各領域における必修科目として、「文献研究・演習 I」「文献研究・演習 II」「文献研究・演習 III」「文献研究・演習 IV」「特別研究 I」「特別研究 II」を履修しなければならない。

専攻名	領域	必修科目	年次及び単位数			指導教員
			1 年次	2 年次	計	
環境情報学	環境マネジメント	文献研究・演習 I	1		1	教授 岡田 公治 教授 木下 幸雄 教授 佐藤 剛 教授 佐藤 真久 教授 馬場 健司 教授 古川 柳蔵 准教授 岡田 啓 准教授 長沢 敬祐 准教授 古川 務 准教授 兵法 彩
		文献研究・演習 II	1		1	
		文献研究・演習 III	(1)	1	1	
		文献研究・演習 IV	(1)	1	1	
		特別研究 I	(3)	3	3	
		特別研究 II	(3)	3	3	
	コミュニケーション環境	文献研究・演習 I	1		1	教授 岡部 大介 教授 奥村 倫弘 教授 小池 星多 教授 高田 昌幸 教授 中村 雅子 教授 広田 すみれ 准教授 伊澤 理江* 准教授 周 娟 准教授 関 博紀 准教授 矢吹 理恵 准教授 山崎 瑞紀
		文献研究・演習 II	1		1	
		文献研究・演習 III	(1)	1	1	
		文献研究・演習 IV	(1)	1	1	
		特別研究 I	(3)	3	3	
		特別研究 II	(3)	3	3	
	情報システム	文献研究・演習 I	1		1	教授 浅香 航太 教授 岩野 公司 教授 大谷 紀子 教授 増田 聡 教授 宮地 英生 准教授 小倉 信彦 准教授 鷺 申 准教授 中村 裕美 准教授 三川 健太 講師 賈 伊陽
		文献研究・演習 II	1		1	
		文献研究・演習 III	(1)	1	1	
		文献研究・演習 IV	(1)	1	1	
		特別研究 I	(3)	3	3	
		特別研究 II	(3)	3	3	
	地域・都市環境	文献研究・演習 I	1		1	教授 飯島 健太郎 教授 史 中超 教授 横田 樹広 教授 リジャル ホム・バハドゥル 准教授 内田 圭 准教授 北村 亘 准教授 後藤 智香子 准教授 丹羽 由佳理 准教授 咸 泳植
		文献研究・演習 II	(1)		1	
		文献研究・演習 III	(1)	1	1	
		文献研究・演習 IV	(1)	1	1	
		特別研究 I	(3)	3	3	
		特別研究 II	(3)	3	3	

専攻名	領域	必修科目	年次及び単位数			指導教員
			1年次	2年次	計	
都市生活学	都市生活	文献研究・演習 I	1		1	教授 明石 達生 教授 宇都 正哲 教授 川口 和英 教授 菊池 武晴 教授 齋藤 圭 教授 坂井 文 教授 坂倉 杏介 教授 高柳 英明 教授 永江 総宜 教授 西山 敏樹 准教授 諫川 輝之 准教授 林 和真 准教授 太田 明 准教授 北見 幸一 准教授 末繁 雄一 准教授 リーラ プロビ ドリアンダ 准教授 中島 伸
		文献研究・演習 II	1		1	
		文献研究・演習 III	(1)	1	1	
		文献研究・演習 IV	(1)	1	1	
		特別研究 I	(3)	3	3	
		特別研究 II	(3)	3	3	

- 文献研究・演習 I, 文献研究・演習 II, 文献研究・演習 III, 文献研究・演習 IV, 特別研究 I, 特別研究 II は、授業時間外において指導教員の指導のもとに行う。
文献研究・演習は I～IV を、特別研究は I～II を段階的に履修すること。
- 指導教員欄の＊印は研究指導補助教員である。
- 各必修科目の概要は以下の通りである。

文献研究・演習 I Research Analysis and Seminar I	領域毎に基本的な文献・資料を講読・調査し、その内容についての討議を通して、自身の研究テーマへの理解を深める。その上で、環境や情報、都市生活にかかわる課題を自らの問題意識と視点にもとづいて提起し、その課題解決に向けての基礎的な検討を進める。
文献研究・演習 II Research Analysis and Seminar II	文献研究・演習 I で提起した課題解決に必要となる、フィールド調査やコンピュータによる解析といった所属領域における各種の研究手法・アプローチについて、文献調査と討議を通してその理解を深める。その上で、それらの方法の実践による課題解決への具体的な取り組みを進める。
文献研究・演習 III Research Analysis and Seminar III	文献研究・演習 II で進めた課題解決に向けた実践をさらに発展させる。研究テーマに直接・間接に関わる文献資料の詳細な分析と討論を通して知見を深めるほか、課題解決に向けた調査や実験などをさらに進めてその結果を分析・考察し、修士論文の作成に役立てる。
文献研究・演習 IV Research Analysis and Seminar IV	文献研究・演習 I～III で得られた文献調査結果・課題解決に向けた実施結果を、発表や討議を通して構造的に整理し、修士論文の作成に役立てる。修士論文作成中に直面する問題点についても、これまでに得た知見をもとに調査と分析を進める。
特別研究 I Dissertation I	研究指導に当たる教員の下で、具体的な研究テーマを選定し、実施した研究の成果をまとめて、修士論文の作成を進める。
特別研究 II Dissertation II	特別研究 I で実施した内容を継続・発展させ、修士論文の完成を図る。作成する論文の一部として、模型やプログラムなどの作品を加えることもできる。

授業科目

博士前期課程（環境情報学専攻 及び 都市生活学専攻）では、以下の授業科目から、「履修要綱」に基づき授業科目を選択する。所属領域関連科目を履修するのが望ましい。

領域	授 業 科 目	単位 数	週時間数				担 当 者
			1 年次		2 年次		
			前	後	前	後	
環境 マネジ メント	環境影響評価学 Y C 開講	2		2			教 授 木下 幸雄 准教授 岡田 啓 准教授 兵法 彩
	環境リスク社会論 Y C 開講	2		2			教 授 木下 幸雄 教 授 佐藤 剛
	環境経営科学 Y C 開講	2	2				教 授 岡田 公治 准教授 長沢 敬祐
	環境法・政策学 Y C 開講	2	2				准教授 岡田 啓 准教授 古川 務
	環境コミュニケーション論 Y C 開講	2	2				教 授 佐藤 真久 教 授 馬場 健司
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 環 境	情報社会論 Y C 開講	2		2			教 授 中村 雅子 教 授 奥村 倫弘
	情報デザイン論 Y C 開講	2	2				教 授 小池 星多 准教授 永盛 祐介
	文化とコミュニケーション Y C 開講	2	2				准教授 山崎 瑞紀 准教授 矢吹 理恵
	現代社会のマスメディア Y C 開講	2	2				教 授 奥村 倫弘 准教授 伊澤 理江
	認知科学特論 Y C 開講	2	2				教 授 岡部 大介 准教授 関 博紀
情 報 シ ス テ ム	情報システムとビジネス Y C 開講	2		2			教 授 増田 聡 講 師 賈 伊陽
	メディア情報処理 Y C 開講	2	2				教 授 宮地 英生 准教授 中村 裕美
	情報ネットワークとセキュリティ Y C 開講	2	2				教 授 浅香 航太 准教授 鷺 申
	知能科学 Y C 開講	2	2				教 授 岩野 公司 教 授 大谷 紀子
	連続系と離散系のモデリング Y C 開講	2		2			准教授 小倉 信彦 准教授 三川 健太
地 域 ・ 都 市 環 境	自然共生システム Y C 開講	2		2			教 授 飯島 健太郎 准教授 内田 圭
	環境保全学 Y C 開講	2		2			准教授 咸 泳植 准教授 北村 亘
	環境建築学 Y C 開講	2	2				教 授 リジャル ホム・バハドゥル 非常勤講師 加用 現空
	地域環境計画論 Y C 開講	2		2			教 授 横田 樹広 准教授 後藤 智香子

領域	授 業 科 目	単位 数	週時間数				担 当 者
			1 年次		2 年次		
			前	後	前	後	
都 市 生 活	都市システム特論	SC開講	2		2		教 授 齋藤 圭 教 授 西山 敏樹 准教授 林 和真
	都市経営特論	SC開講	2	2			教 授 川口 和英 教 授 菊池 武晴 教 授 永江 総宜 准教授 北見 幸一
	グローバル都市ビジネス特論	SC開講	2		2		教 授 宇都 正哲 准教授 リーラ プロビ ドリアンダ
	都市プランニング特論	SC開講	2		2		教 授 明石 達生 教 授 坂井 文 准教授 諫川 輝之
	建築デザイン特論	SC開講	2	2			教 授 高柳 英明 准教授 中島 伸
	都市デザイン特論	SC開講	2	2			教 授 川口 英俊 准教授 中島 伸
	建築設計インターンシップ	SC開講	4				教 授 川口 英俊 教 授 高柳 英明
	都市のリサーチメソッド演習	SC開講	1	2			教 授 西山 敏樹 准教授 北見 幸一
	建築設計演習	SC開講	1	2			教 授 川口 英俊 教 授 高柳 英明
専 門 基 礎	都市環境モデリング	YC開講	2	2			教 授 史 中超 准教授 丹羽 由佳理
	Environmental and Social Systems	YC開講	2		2		准教授 マイケル フォードリー
	メディア技術と社会	YC開講	2	2			教 授 浅香 航太 教 授 岩野 公司 教 授 大谷 紀子 教 授 増田 聡 教 授 宮地 英生 准教授 小倉 信彦 准教授 齋 申 准教授 中村 裕美 准教授 三川 健太 講 師 賈 伊陽
	社会調査とデータ分析	YC開講	2		2		教 授 広田 すみれ 教 授 岡部 大介 准教授 周 娟
	都市のアクションリサーチ	SC開講	2	2			教 授 坂倉 杏介 准教授 末繁 雄一
	地球規模問題解決型イノベーション論	YC開講	2	2			教 授 古川 柳蔵 准教授 丹羽 由佳理
共 通	Academic Presentations	YC開講 SC開講	1	2			准教授 マイケル フォードリー 教 授 佐竹 幸信
	Academic Paper Writing	YC開講 SC開講	1		2		准教授 中條 純子 教 授 佐竹 幸信
	Advanced Comprehension Skills	YC開講	1	2			准教授 中條 純子
	キャリアデザイン	YC開講 SC開講	1		1		非常勤講師 田中 聖華 (YC) 教 授 永江 総宜 (SC)
	インターンシップ		2				担当教員
	特別講義 I		2				担当教員
	特別講義 II		2				担当教員
	特別セミナーI		1				担当教員
	特別セミナーII		1				担当教員

授業科目においては、クォーター制で開講されている科目があるので、履修登録に当たっては「履修上の注意事項」の 4. 履修届出の項目を参照すること。

教育課程表：東京都市大学・エディスコワン大学国際連携環境融合科学専攻

博士前期課程

授業科目

博士前期課程（東京都市大学・エディスコワン大学国際連携環境融合科学専攻）では、以下の授業科目から、「履修要綱」に基づき授業科目を選択する。

区分		授 業 科 目	配当年次及び単位数			開設大学/担当者 等
			1 年次	2 年次	計	
専門科目	生産	Sustainable Cyber-Physical Systems	2		2	本学 講 師 ニコ スランタ
		IoT for SDGs	2		2	本学 准教授 長沢 敬祐
		地域環境計画論	2		2	本学 教 授 横田 樹広 准教授 後藤 智香子
		都市環境モデリング	2		2	本学 教 授 史 中超 准教授 丹羽 由佳理
		環境影響評価学	2		2	本学 教 授 木下 幸雄 准教授 兵法 彩
		自然共生システム	2		2	本学 教 授 飯島 健太郎 准教授 内田 圭
		環境経営科学	2		2	本学 教 授 岡田 公治 准教授 長沢 敬祐
		Project Management	2.5		2.5	エディスコワン大学
		Occupational Health and Safety Management Systems	2.5		2.5	エディスコワン大学
		Sustainability Assessment and Reporting		2.5	2.5	エディスコワン大学
	消費	環境コミュニケーション論	2		2	本学 教 授 佐藤 真久 教 授 馬場 健司
		環境建築学	2		2	本学 教 授 リジャル ホム・パハドゥル 非常勤講師 加用 現空
		環境リスク社会論	2		2	本学 教 授 木下 幸雄 教 授 佐藤 剛
		Environmental and Social Systems	2		2	本学 准教授 マイケル フォードリー
		地球規模問題解決型イノベーション論	2		2	本学 教 授 古川 柳蔵 准教授 丹羽 由佳理
		環境保全学	2		2	本学 准教授 咸 泳植 准教授 北村 亘
		Management of Waste	2.5		2.5	エディスコワン大学
		Biological Conservation	2.5		2.5	エディスコワン大学
		Data Analysis and Visualisation	2.5		2.5	エディスコワン大学

区分		授 業 科 目	配当年次及び単位数			開設大学/担当者 等
			1 年次	2 年次	計	
専門科目	政策・経営	情報社会論	2		2	本学 教 授 中村 雅子 教 授 奥村 倫弘
		認知科学特論	2		2	本学 教 授 岡部 大介 准教授 関 博紀
		現代社会のマスメディア	2		2	本学 教 授 奥村 倫弘 准教授 伊澤 理江
		環境法・政策学	2		2	本学 准教授 岡田 啓 准教授 古川 務
		情報システムとビジネス	2		2	本学 教 授 増田 聡 講 師 賈 伊陽
		知能科学	2		2	本学 教 授 大谷 紀子 教 授 岩野 公司
		Environmental Impact Assessment Procedures	2.5		2.5	エディスコワン大学
		Integrated Environmental Management	2.5		2.5	エディスコワン大学
		Environmental Monitoring and Investigation		2.5	2.5	エディスコワン大学
専門科目		文献研究・演習 I	1		1	本学
		文献研究・演習 II	1		1	本学
		文献研究・演習 III		1	1	本学
		文献研究・演習 IV		1	1	本学
		特別研究 I		3	3	本学
		特別研究 II		3	3	本学
		Postgraduate Science Project		7.5	7.5	エディスコワン大学
共通		インターンシップ	2		2	本学 教 授 デトレフ ラングマン 教 授 伏見 勝利
		Fundamentals of International Standardisation	2		2	本学 教 授 デトレフ ラングマン
		Fundamentals of Global Sustainability	2		2	本学 教 授 古川 柳蔵 教 授 佐藤 剛 教 授 横田 樹広 教 授 リジャル ホム・パドゥル
		特別講義	2		2	本学
		Biostatistics	2.5		2.5	エディスコワン大学
		Geographical Information Systems and Remote Sensing	2.5		2.5	エディスコワン大学
		Research Preparation: Principles and Approaches		2.5	2.5	エディスコワン大学

※文献研究・演習 I, 文献研究・演習 II, 文献研究・演習 III, 文献研究・演習 IV, 特別研究 I 及び特別研究 II」は、授業時間外において指導教員の指導のもと行う。

※修了要件単位数：30 単位

うち、本学開設科目から 15 単位(本学を主大学とする学生は、文献研究・演習 I, 文献研究・演習 II, 文献研究・演習 III, 文献研究・演習 IV, 特別研究 I 及び特別研究 II から計 3 単位を含むこと), エディスコワン大学科目から 15 単位を含むこと)

教育課程表：環境情報学専攻 及び 都市生活学専攻

博士後期課程

領域および必修科目

博士後期課程では、各領域における必修科目として、「講究」および「研究」を履修しなければならない。

専攻名	領域	科目区分	必修科目名	年次及び単位数				指導教員
				3年次	4年次	5年次	計	
環境情報学	環境	講究	環境情報学講究 I	4			4	教授 飯島 健太郎 教授 岡田 公治 教授 木下 幸雄 教授 佐藤 剛 教授 佐藤 真久 教授 史 中超 教授 馬場 健司 教授 古川 柳蔵 教授 横田 樹広 教授 リジャール ホーム・パドゥル 准教授 内田 圭 准教授 岡田 啓 准教授 北村 亘 准教授 後藤 智香子 准教授 長沢 敬祐 准教授 丹羽 由佳理 准教授 咸 泳植 准教授 兵法 彩
			環境情報学講究 II	4			4	
		研究	環境情報学特殊研究 I	(4)	4		4	
			環境情報学特殊研究 II	(4)	4		4	
			環境情報学特殊研究 III	(4)	(4)	4	4	
			環境情報学特殊研究 IV	(4)	(4)	4	4	
	情報	講究	環境情報学講究 I	4			4	
			環境情報学講究 II	4			4	
		研究	環境情報学特殊研究 I	(4)	4		4	
			環境情報学特殊研究 II	(4)	4		4	
			環境情報学特殊研究 III	(4)	(4)	4	4	
			環境情報学特殊研究 IV	(4)	(4)	4	4	
都市生活学	都市生活	講究	都市生活学講究 I	4			4	教授 明石 達生 教授 宇都 正哲 教授 川口 和英 教授 菊池 武晴 教授 齋藤 圭 教授 坂井 文 教授 坂倉 杏介 教授 高柳 英明 教授 西山 敏樹 准教授 諫川 輝之 准教授 林 和真 准教授 太田 明 准教授 北見 幸一 准教授 末繁 雄一 准教授 リーラ プロビ ドリアンダ 准教授 中島 伸
			都市生活学講究 II	4			4	
		研究	都市生活学特殊研究 I	(4)	4		4	
			都市生活学特殊研究 II	(4)	4		4	
			都市生活学特殊研究 III	(4)	(4)	4	4	
			都市生活学特殊研究 IV	(4)	(4)	4	4	

- 環境情報学講究 I・II，環境情報学特殊研究 I～IV，都市生活学講究 I・II，都市生活学特殊研究 I～IV は、指導教員の指導のもとに行う。
- 指導教員欄の＊印は研究指導補助教員である。

関係情報

大学院環境情報学研究科

専攻・キャンパス

教員組織

各種様式

大学院環境情報学研究科 専攻・キャンパス

大学院環境情報学研究科 GRADUATE SCHOOL OF ENVIRONMENTAL AND INFORMATION STUDIES	博士前期課程		博士後期課程		キャンパス ※
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
■環境情報学専攻 ENVIRONMENTAL AND INFORMATION STUDIES	62名	124名	6名	18名	横浜キャンパス
■東京都市大学・エディスコワン大学 国際連携環境融合科学専攻 International Collaborative Program of Transdisciplinary Science for Sustainability between Tokyo City University and Edith Cowan University	5名	10名	—	—	
■都市生活学専攻 URBAN LIFE STUDIES	18名	36名	6名	18名	世田谷キャンパス

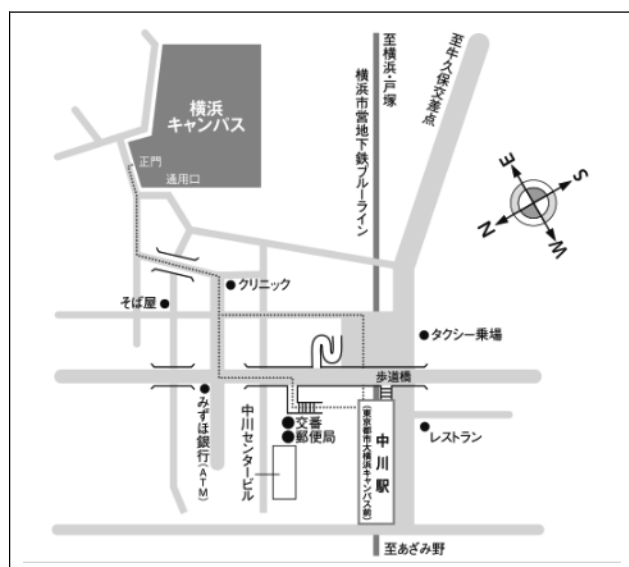
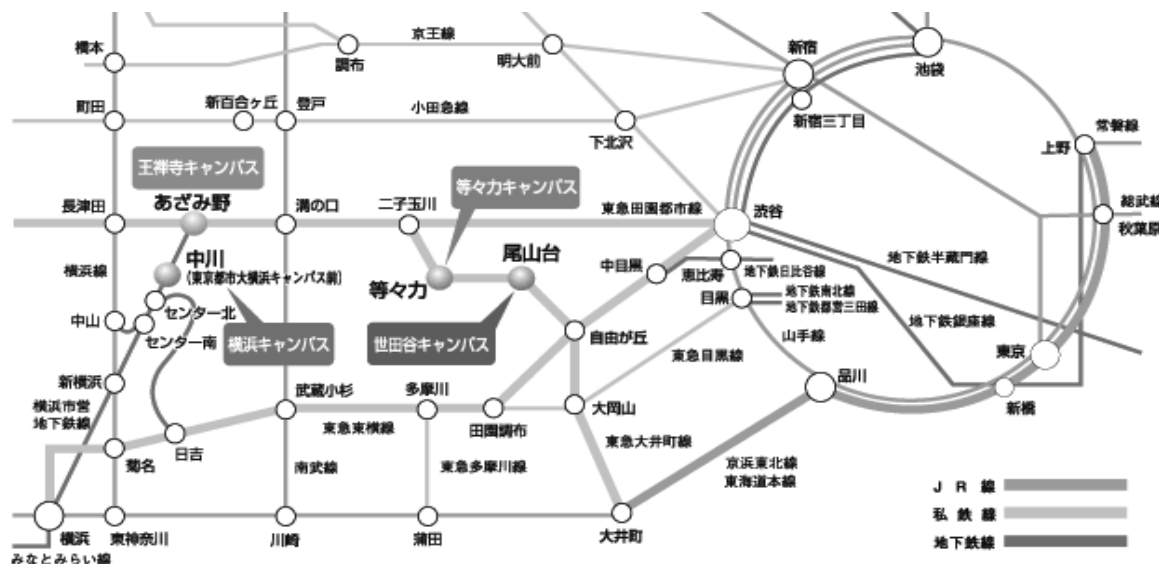
※所属する専攻によって、キャンパスが異なります。

■横浜キャンパス

〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西3-3-1

■世田谷キャンパス

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1



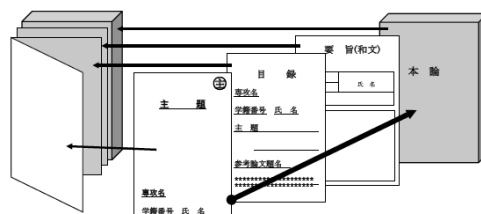
博士前期課程 2 年・博士後期課程 5 年：4 月提出
※後学期入学生は、10 月に提出

105

様式M-1

- ① 学位論文に必要以下のデータを **PDF 形式で保存し**、自身の PC 上であつつのフォルダに収納する。
 - ・ 学位論文
 - ・ 様式 M-2 学位請求書 **(推薦教員の押印は不要)**
 - ・ 様式 M-3 目録
 - ・ 様式 M-4 要旨 (和文 1,000 字程度※) ※英文とする場合、250 字程度
 - ・ 参考論文 (必要な場合のみ)
 - ・ 本籍確認書類のデータ (PDF や画像データ等)
- ※ 戸籍簿本 (抄本) または本籍記載の住民票 (外国人留学生の方は、各市区町村発行の「住民票」を事前に取得し、ご自身でスキャンや撮影等※ PDF や画像データ化し、アップロードして下さい。
※ 本籍確認書類は書類全体が写り、記載内容が確認できるような状態にてデータ化して下さい。
- ② 上記フォルダ名は「**学籍番号(7桁)・氏名**」とする。 (例) 2493000_東京 武蔵
- ③ フォルダを zip 形式に圧縮する。
※ Mac や Linux 等で圧縮するとファイル名が文字化けを起こす可能性があるため、Windows の圧縮作業は可能な限り Windows の環境下ですることして下さい。
- ④ 圧縮した zip ファイルをアップロードし提出する。
- ⑤ 上記手順ができない場合は論文および必要書類を一つの PDF ファイルにまとめて提出してもよいがファイル名は②の通りにする。
- ⑥ アップロード、論文データ(要綱があれば紙媒体)を主査と副査に送す。

- 様式 M-2 には YC ポータルサイト内の文書ライブラリより入手して下さい。
- 様式 M-6、7 については、数学専攻より指導教員に提出を依頼します。(様式 M-5 は提出を省略)
- 紙媒体での文書提出をためる場合、ファイルの表紙には、主題、専攻名、学号等氏名を次のように記載し、提出書類のうち、「目録」「要旨」は、各論文ファイルに「目録」「要旨」「本論」の順で綴じ込んで下さい。
- 主題に添付ファイルには⑫を、副題に添付ファイルには⑬と記すと丁度です。



- 注)審査委員(主査+副査)の人数分を用意して下さい。
・ 主査1名+副査2名の場合:3部用意して下さい。
・ 主査1名+副査3名の場合:4部用意して下さい。

事務手続きについてご質問・ご要望がある場合、下記までご連絡下さい。

教務課 大学院担当 E-mail yckvyoumu@tcu.ac.jp
 環境情報学専攻 yckvyoumu@tcu.ac.jp
 都市生活学専攻 yckvyoumu@tcu.ac.jp

様式M-2

指導教員から提出許可を得ています。(確認欄にチェック) 確認欄 ☐

様式M-3

Case no.	Age	Sex	Occupation	Duration of disease (years)	Onset of disease (age)	Family history of disease	Previous treatment	Current treatment	Outcome	Histopathological findings		Immunohistochemical findings	Molecular findings	Genetic findings	Clinical course	Follow-up	Comments
										HE	Immunohistochemistry						
1	65	M	Farmer	10	55	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
2	72	F	Homemaker	15	57	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
3	68	M	Teacher	8	60	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
4	75	F	Retired	12	63	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
5	70	M	Engineer	10	60	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
6	78	F	Homemaker	18	60	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
7	62	M	Farmer	10	52	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
8	73	F	Homemaker	15	58	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
9	67	M	Teacher	8	59	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
10	74	F	Retired	12	62	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
11	69	M	Engineer	10	59	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
12	76	F	Homemaker	18	58	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
13	63	M	Farmer	10	53	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
14	71	F	Homemaker	15	56	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
15	66	M	Teacher	8	58	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
16	77	F	Retired	12	65	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
17	64	M	Engineer	10	54	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
18	79	F	Homemaker	18	61	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
19	61	M	Farmer	10	51	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
20	72	F	Homemaker	15	57	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
21	68	M	Teacher	8	60	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
22	75	F	Retired	12	63	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
23	69	M	Engineer	10	59	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
24	76	F	Homemaker	18	58	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
25	63	M	Farmer	10	53	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
26	71	F	Homemaker	15	56	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
27	66	M	Teacher	8	58	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
28	77	F	Retired	12	65	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
29	64	M	Engineer	10	54	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
30	79	F	Homemaker	18	61	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
31	61	M	Farmer	10	51	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
32	72	F	Homemaker	15	57	No	No	No	No	Normal	Normal	Normal	Normal</				

様式M-4

様式M-4

目 録

専攻名 _____

学籍番号 _____ 氏名 _____

主題*

研究歴

学 術 論 文	論文名	発表誌名	発表年月日
研 究 発 表	題 名	発表機関	発表年月日

*主題が外国語の場合は、日本語で訳文を()を付して記入すること。

様式M-5

「履歴書」…現在提出を省略

様式M-6

様式M-6

年 月 日

東京都市大学長 殿

審 査 委 員 会

主査 _____ 印
委員 _____ 委員 _____

学位論文審査報告書および最終試験報告書

専攻名		領 域 名	
学籍番号		氏 名	
論文題名			
学 位 論 文 審 査 報 告		判 定	
最 終 試 験 報 告		判 定	
結果の要旨			
1. 論文を中心とした科目試験			
2. 外国語試験			

(注) 判定は合格・不合格の評語で記入すること。
外国語は原則として英語とする。ただし、特別な理由がある場合は他の言語で置き換えることができる。

様式M-7

様式M-7

年 月 日

東京都市大学長 殿

大学院環境情報学研究科 環境情報学専攻
専攻主任 _____

論文審査委員会委員候補者

主 査			
委 員 (博士前期課程 2名以上)			
学籍番号		氏 名	
領 域 名			

様式D-1

様式D-1

指導教員	年	月	日
東京都大学大学院			
環境情報学研究科長 殿			
提出者			
学籍番号			
専攻名			
氏名			

学位論文等の提出

私は、学位請求に先立ち、下記受理判定審査書類を提出致します。

記

1. 學位論文
2. 學位論文概要 (和文1,000字程度)
3. 研究歴

以上

指導教員から提出許可を得ています。(確認欄にチェック) 確認欄 ☐

事務局使用欄	指導目付	チェック
教育学部教育学課 受理		
専攻主任への受理報告		

様式D-2

様式D-2

論 文 概 要 (和文)

(1,000 字程度)

専攻名		氏名	
学籍番号		指導教員名	
論文主題			

(論文概要)

(注意) 論文主題が外国語の場合は、日本語の訳文を()を付して記入すること。

様式D-3

[illegible]

(注) 研究歴中、学会誌等に発表されたものは学術論文部門、講演等による発表のものは研究発表部門に区別して記入すること。

様式D-4

様式D-4

年 月 日

環境情報学研究科 専攻主任 殿

数学課 課長 _____

学位論文等の受理報告書

下記の者の学位論文を受理いたしましたので、同書類を添えてご報告いたします。

記

1. 学位論文・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1部
2. 学位論文概要（和文1,000字程度）・・・・・	1部
3. 研究歴・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1部

論文提出者

学籍番号 _____

専攻名 _____

氏名 _____

以上

様式D-5

様式D-5

年 月 日

東京都市大学
大学院 環境情報学研究科長 殿
大学院 環境情報学研究科専攻主任教授 殿

大学院環境情報学研究科
指導教員

論文発表会開催届

下記のとおり、博士（環境情報学）の論文発表会を開催することになりましたので
ご報告申し上げます。

記

（ふりがな） 論文提出者	（ 年 月 日生）
論文主題	
発表会日時	年 月 日 時 分～ 時 分
場 所	

以上

様式D-6

様式D-6

年 月 日

東京都市大学長 殿

大学院環境情報学研究科
専攻主任

論文審査委員会委員候補者

主査氏名	
審査委員 博士後期課程 （4名以上）	
論文提出者 学籍番号 氏 名	
専攻名	

様式D-7

様式D-7

学位論文提出における注意事項

学位論文提出にあたっては、次の各事項に留意すること。

- 提出書類
 - 学位請求書（様式D-8） 1部
 - 学位論文 5部
 - 論文要旨（和文2,000字）（様式D-9） 5部
 - 論文要旨（英文 500語）（様式D-10） 5部
 - 目 録（様式D-11） 5部
 - 履歴書（様式D-12） 1部
 - 研究歴（様式D-13） 1部
 - 戸籍謄本、戸籍抄本又は本籍地（論文提出者が
外国籍の場合は国籍）が記載された住民票の写し 1部
 - 参考文献（必要な場合のみ） 5部
- ファイルの表紙には、論文主題・専攻名・学籍番号・氏名を次の図のように記載すること。

ファイル

論文主題
専攻名
学籍番号 氏 名

- 論文は1部を（正）とし、残りは（副）として作成すること。
- 提出書類のうち、「論文目録」「論文要旨（和文・英文）」は、上記3の要領にしたがってそれぞれ1部ずつ（正）と（副）のファイルに綴じ込むこと。また綴じ込みの際、上から「論文目録」「論文要旨（和文・英文）」「論文」の順に綴じ込むこと。
- 学位請求書・学位論文等の提出締切
提出締切： 年 月 日（ ） 時（厳守）
提出先：教務課
環境情報学専攻：横浜キャンパス
都市生活学専攻：世田谷キャンパス
- 学位請求書等提出物は、必ず指導教員による提出許可（承認）を得てから提出すること。

様式D-8

様式D-8

年 月 日

東京都市大学学長 殿

学位請求書

指導教員

学位請求者

学籍番号

専攻名

氏 名

私 は、東京都市大学学位規程第5条第2項により博士（環境情報学）/博士（都市生活学）の学位を請求したいので、下記関係書類を添えて提出致します。

記

- 学位論文 部
- 論文主題

（注）論文主題が外国語の場合は、日本語の訳文を（ ）を付して記入すること。

- 学位論文要旨（学位論文に添えること）
 - イ、和文（2,000字程度） 様式D-9 部
 - ロ、英文（500語程度） 様式D-10 部
- 参考文献（必要に応じて） 部
- 論文目録 様式D-11 部
- 履歴書 様式D-12 1部
- 研究歴 様式D-13 1部
- 戸籍謄本、戸籍抄本又は本籍地（国籍）が記載された住民票の写し 1通

*本学が適当と認めた場合に博士（学術）を授与する場合があります。

キリトリ線

学位請求書類受領書

論文提出者

年 月 日

印

提出書類等	部数
1. 論文	部
2. 論文要旨（和文及び英文各）	様式D-9,10 部
3. 論文目録	様式D-11 部
4. 参考文献（必要に応じて）	部
5. 履歴書	様式D-12 1部
6. 研究歴	様式D-13 1部
7. 戸籍謄本、戸籍抄本 又は本籍地（国籍）が記載された住民票の写し	1通

学籍課
受付印

様式D-9

様式D-9

論文要旨(和文)

(2,000 字程度)

報告番号	甲第	号	氏名	
論文主題				

(論文要旨)

[illegible]

(注意) 論文主題が外国語の場合は、日本語の訳文を () を付して記入すること。

様式D-10

様式D-10

論文要旨(英文)

(500 語程度)

報告番号	甲第	号	氏名	
論文主題				

(論文要旨)

[illegible]

様式D-11

様式D-11

論文目錄

東京都市大学

報告番号	甲第	号	氏名	
論文				冊
主 題				
参考文献				冊
題 名				

備考 論文の主題が外国語の場合は、日本語で訳文を（ ）を付して記入すること。

様式D-12

様式D-12

履歷書

報告番号	甲第 号	専攻名		
氏名				男・女
生年月日	昭和・平成 年 月 日 生			
本籍				
現住所	〒			
電話番号				

最終學歷

年 月 日 東京都市大学大学院環境情報学研究科
環境情報学専攻博士後期課程修了見込

研究點

年 月 日

年 月 日

職歴

年 月 日

年 月 日

様式D-13

様式D-13

年 月 日

東京都大学学長 殿

環境情報学研究所長 _____

主査 _____ 印 _____

委員 _____ 委員 _____

委員 _____ 委員 _____

委員 _____ 委員 _____

学位論文審査及び学力確認結果報告書

学位請求者			
請求学位		該当する専攻名	
論文主題			
論文判定結果	年 月 日 :		
学力判定結果	専攻学術	年 月 日 :	
	外国語	年 月 日 :	

専攻内構成員数 と判定結果	構成員数	名	可	名	否	名
年 月 日	無効	名	欠席	名		

(注) 判定結果は、合格、不合格の群籍で記入すること。

様式D-14

様式D-14

論文審査結果の要旨

報告番号	甲第 号	氏 名	
論文審査担当者	主査 _____ 委員 _____		

様式D-15

様式D-15

学力確認結果の要旨

報告番号	甲第 号	氏 名	
最終試験担当者	主査 _____ 委員 _____		

1. 論文を中心とした科目試験

2. 外国語試験 (1外国語)

様式D-16

様式D-16
(大学院環境情報学研究所委員会報告書式)

年 月 日

報告者 (主査): _____

研究概要報告書

学位請求者	氏名		該当する 専攻名	
論文主題				
キーワード (4～8つ程度)				
対象とする 環境情報学分野				
研究目的 または 研究内容				
主たる成果 および特色 意義 独創性 など				
その他 特記事項				

様式 D-17

様式 D-17 R-16

年 月 日

東京都市大学大学院 環境情報学研究科長 殿

博士学位論文の公表に関する確認書

学位規則第9条及び東京都市大学学位規程第14条に定める博士学位論文の公表について、以下のとおり申請し、東京都市大学学術リポジトリに登録してインターネット公表することに同意致します。

なお、当該博士学位論文（全文または要約）をインターネット公表することによって、申請者の他に帰属する著作権等の権利を侵害することはありません。

学籍番号 (博士後期課程のみ)		学位請求者氏名	印
専攻名		指導教員	
論文題目			
連絡先	〒		
	Tel :		E-mail :

※博士学位論文のインターネット公表について、以下の□に「レ」を付けて提出してください。

1 ☐ 私は学位授与日から1年以内に博士学位論文の全文をインターネット公表することに同意致します。

公表開始可能日

2 ☐ 私は以下のやむを得ない事情により博士学位論文の全文をインターネットによる公表ができないため、「論文の要旨」を「論文の要約」として公表することに同意致します。なお、やむを得ない事情が解消された際には、大学へ連絡の上、博士学位論文の全文をインターネット公表することに同意致します。

2-1 ☐ 立体形状による表現を含んでいる

2-2 ☐ 著作権や個人情報に係る制約がある

2-3 ☐ 出版刊行、学術ジャーナル掲載、特許の申請などの予定がある

2-4 ☐ その他のやむを得ない事情

2に該当する場合は、以下に事由等を明示すること。

1年以上公表できない事由の詳細			
全文の公表開始日 (未定の場合はその理由)	年	月	日
(※大学使用欄：以下には何も記入しないこと)			
学位授与日	年	月	日
		特記事項	

様式 D-18

様式 D-18 R-17

年 月 日

東京都市大学大学院 環境情報学研究科長 殿

博士学位論文の公表に関する報告書

インターネット公表を保留にしていた、私が執筆した下記の博士論文の全文について、やむを得ない事由が解消しましたので、インターネット上での公表をお願いします。

学位授与者情報

学籍番号 (博士後期課程のみ)		学位授与者氏名	印
専攻名		指導教員	
論文題目			
連絡先	〒		
	Tel :		E-mail :

提出先

東京都市大学教学部教務課 大学院担当

様式 R-1

様式 R-1

論文の概要 (和文) (2,000 字程度)

論文提出者	
論文の提出を受けた教授	
論文主題	

(論文概要)

(注意) 論文主題が外国語の場合は、日本語の訳文を () を付して記入すること。

様式 R-2

様式 R-2

学会誌等に発表した論文の目録

論文提出者	

備考 (1) 既に印刷公表したものについては、その方法および年月日、未公表のものについては、公表の方法および時期を題名の下に記入すること。
(2) 論文の題名が外国語の場合は、日本語の訳文を () を付して記入すること。

様式 R-3

様式 R-3

履 歴 書

氏 名 _____ 男・女

生年月日 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 生

本 籍 _____

現 任 所 職 _____

学 歴 (高等学校以上)

_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

職 歴

_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

様式 R-4

様式 R-4

研 究 歴

論文提出者			
著 書	書 名	発行所	発行年月日
学 術 論 文	論 文 名	発表誌名	発表年月日
研 究 発 表	題 名	発表機関	発表年月日

(注) 研究歴中、学会誌等に発表されたものは既に印刷公表したものについては、学術論文部門、講演等による発表のものは研究発表部門に区別して記入すること。

様式 R-5

様式 R-5

年 月 日

東京都市大学 大学院 環境情報学研究科
専攻 博士後期課程

教授 殿

氏 名

論文発表会の開催願書

博士（ ）の学位請求に先立ち、下記学位論文の発表会を開催して頂きたいとお願い致します。

論 文 主 題	
論 文 概 要	

様式 R-6

様式 R-6

年 月 日

東京都市大学
大学院環境情報学研究科長 殿

大学院環境情報学研究科 専攻
専攻主任

論文発表会開催願

博士（ ）の学位請求に先立ち、下記学位論文の発表会を開催して頂きたいとお願い致します。

記

(ふりがな) 論文提出者	(年 月 日生)
論文主題	

[参 考]

論文提出者の略歴

現 住 所	〒	
勤務先・職名		
勤務先住所	〒	
最 終 学 歴	年 月 日	卒業・修了
職 歴	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	

以上

様式 R-7

様式 R-7

年 月 日

東京都市大学学長 殿

環境情報学研究科長
環境情報学研究科 専攻
専攻主任

学位論文受理願

下記の者より提出のありました学位請求論文を受理願います。

記

(ふりがな) 論文提出者	(年 月 日生)
論文主題	

[参 考]

論文提出者の略歴

現 住 所	〒	()
勤務先・職名		
勤務先住所	〒	()
最 終 学 歴	年 月 日	卒業・修了
職 歴	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	

以上

様式 R-8

様式 R-8

年 月 日

東京都市大学学長 殿

環境情報学研究科長
環境情報学研究科 専攻
専攻主任

学位論文審査委員会委員候補者審議願

学位論文審査委員会委員候補者として下記の 氏名を専攻において選出いたしましたので、大学院環境情報学研究科委員会にてご審議いただきたくお願いいたします。

記

[学位論文提出による博士の学位審査扱い]

論文提出者			
論文主題			
委員候補者	主 査	専 攻 名	氏 名
	委 員		

以上

様式 R-9

様式 R-9

年 月 日

学位請求書

東京都市大学学長 殿

指導教員 _____

学位請求者 _____

私は、東京都市大学学位規程第3条第3項により博士(環境情報学)/博士(都市生活学)の学位を請求したいので、下記関係書類を添えて提出致します。

記

1. 学位論文

論文主題 _____

(注) 論文主題が外国語の場合は、日本語の訳文を()を付して記入すること。

2. 学位論文要旨(学位論文に添ること)

イ. 和文(2,000字程度) 様式 R-10

ロ. 欧文(500語程度) 様式 R-11

3. 主要論文別冊

4. 主要論文目録 様式 R-2

5. 履修書 様式 R-3 1通

6. 研究歴 様式 R-4 1通

7. 戸籍謄本、戸籍抄本又は本籍地(国籍)が記載された住民票の写し 1通

8. 最終学校の卒業証明書 1通

9. 論文審査料(払込用紙領収印が押印されたものの写し) 1部

*本学が通商と類のた場合に博士(学術)を授与する場合があります。

キリトリセン

学位請求書類受領書

論文提出者 _____

年 月 日

院

提出書類等	部数
1. 論文	部
2. 論文要旨各	様式 R-10,11 部
3. 主要論文別冊	部
4. 主要論文目録	様式 R-2 部
5. 履修書	様式 R-3 部
6. 研究歴	様式 R-4 部
7. 戸籍謄本、戸籍抄本又は本籍地(国籍)が記載された住民票の写し	1通
8. 卒業証明書	1通
9. 論文審査料(払込用紙の写し)	1部

数字領受印

様式 R-10

様式 R-10

論文の要旨(和文)

(2,000字程度)

論文提出者	
論文主題	

(論文要旨)

(注意) 論文主題が外国語の場合は、日本語の訳文を()を付して記入すること。

様式 R-11

様式 R-11

論文の要旨(欧文)

(500字程度)

論文提出者	
論文主題	

(論文要旨)

(注意) 論文主題が外国語の場合は、日本語の訳文を()を付して記入すること。

様式 R-12

様式 R-12

年 月 日

東京都市大学学長 殿

環境情報学研究科長 _____

主査 _____ 印

委員 _____ 委員 _____

委員 _____ 委員 _____

学位論文審査及び学力確認結果報告書

学位請求者			
請求学位	博士()	該当する専攻名	
論文主題			
論文判定結果	年 月 日		
学力判定結果	専攻学術	:	
	外国語	:	

専攻内構成員数	構成員数	名
と判定結果	可	名 否 : 名
	無効	名 欠席 : 名

(注) 判定結果は、合格、不合格の評語で記入すること。

各種樣式

様式 R-15

116

様式 D-17 R-16

年 月 日

東京都大学大学院 環境情報学研究所長 殿

博士學位論文の公表に関する確認書

学位規則第9条及び東京都大学学位規則第14条に定める博士學位論文の公表について、以下のとおり申請し、東京都大学学術所リポジトリに登録してインターネット公表することに同意致します。

なお、当該博士學位論文（全文または要約）をインターネット公表することによって、申請者の他に帰属する著作権等の権利を侵害することはありません。

学籍番号 (博士後期課程のみ)		学位請求者氏名	印
専攻名		指導教員	
論文題目			
連絡先	〒		
Tel :	E-mail :		

※博士學位論文のインターネット公表について、以下の□に「レ」を付けて提出してください。

1 ☐ 私は学位授与日から1年以内に博士學位論文の全文をインターネット公表することに同意致します。
公表開始可能日

2 ☐ 私は以下のやむを得ない事情により博士學位論文の全文をインターネットによる公表ができないため、「論文の要旨」を「論文の要約」として公表することに同意致します。なお、やむを得ない事情が解消された際には、大学へ連絡の上、博士學位論文の全文をインターネット公表することに同意致します。

2-1 ☐ 立体形状による表現を含んでいる

2-2 ☐ 著作権や個人情報に係る制約がある

2-3 ☐ 出版発行、学術ジャーナル掲載、特許の申請などの予定がある

2-4 ☐ その他、そのやむを得ない事情

2に該当する場合は、以下に事由等を示明すること。

1年以上公表できない事由の詳細			
全文の公表開始日 (未定の場合はその理由)	年	月	日

(※大学使用欄：以下には何も記入しないこと)

学位授与日	年	月	日	特記事項	
-------	---	---	---	------	--

様式 D-18 R-17

年 月 日

東京都市大学大学院 環境情報学研究科長 殿

博士学位論文の公表に関する報告書

インターネット公表を保留にしていた、私が執筆した下記の博士論文の全文について、やむを得ない事由が解消しましたので、インターネット上での公表をお願いします。

学位授与者情報			
学籍番号 (博士後期課程のみ)		学位授与者氏名	印
専攻名		指導教員	
論文題目			
連絡先	〒		
	Tel :	E-mail :	

提出先
東京都市大学教学部教務課 大学院担当

(発行)

神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1

東京都市大学

教学部 教学課 (横浜キャンパス)

電話 045-910-0104 (代)

(印刷)

東京都千代田区神田三崎町 3-10-17

株式会社 ハクト

電話 03-3234-7881 (代)

大学院 環境情報学研究科

